

普及活動情勢報告（令和7年2月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

高知で農業に関わってみんかえ！・Ⅱ ～梶原高校で出前授業を開催～



「職業としての農業の魅力」を説明する普及指導員

1月20日、津野山地域営農連絡協議会が、高知県立梶原高等学校で2年生を対象に出前授業を開催し、生徒11人が参加しました。

農業改良普及課は、「これまでの出前授業の振り返りと学生の考える農業」を題材としたフリートークの後、「高知で農業に関わってみんかえ！」を題材に、職業としての農業、農家と会社員との違い、就農支援策などを紹介しました。

参加者からは、「1年間生徒同士で協力して実習できて楽しかった」、「農家がどのような生活をしているのか知りたい」といった声がありました。

次年度も、同校の1年生と農業コース2年生を対象に、内容を充実させた出前授業を予定しています。

今作を振り返り次作の改善点を確認 ～JA高知県津野山なす部会員の面談～



農家と今作を振り返る普及指導員

1月21～23日、JA高知県高西営農経済センターで、営農指導員とともにJA高知県津野山なす部会員15人の面談を実施しました。

農業改良普及課は、部会員に今作の出荷量等のデータを示して、今作の振り返りと経営及び栽培管理上の課題整理を支援し、解決のための改善策を指導しました。

部会員は、「次作は病害虫対策を徹底していきたい」、「植付後の温度管理を見直す」など、改善に向けて取り組むことを確認していました。

農業改良普及課は今後も、関係機関と連携して、部会員の経営改善に向けた取り組みを支援します。

作業の効率化に向けて ～カイゼンの取組支援～



カイゼンにより整理された廃棄物

2月6日、中土佐町久礼のシシトウ農家1戸を対象に、作業の効率化に向けたカイゼンの取組を支援しました。

農業改良普及課は、資材などの「モノ」のリスト化、リストをもとにした「モノ」の移動、集約、廃棄等の整理整頓作業の実施を支援しました。

農家からは「何があるかが分かり、捨てるべきものが整理できてよかった」とリスト化を評価する声があり、整理整頓により約6割まで「モノ」を削減できました。

今後は、カイゼンの効果や方法を整理して、農家の作業の効率化に向けたカイゼンを支援します。

経営の安定を目指して ～認定新規就農者の面談～



農家と面談する普及指導員

2月7日、津野町役場で認定新規就農者1戸を対象に面談を実施しました。

農業改良普及課は、今作の栽培状況と収支について聞き取り、農家の課題整理を支援するとともに、経営計画の次年度目標を確認しました。

農家からは、「初めての品目で誘引作業などの要領が分からず、後手後手に回ってしまった」、「次作は、早め早めの準備や作業を行っていきたい」と、次作に向けた改善意欲が感じ取れました。

農業改良普及課は今後も、関係機関と連携して認定新規就農者の経営計画の達成を確認、支援します。

収量・品質の向上を図ろう！ ～JA土佐くろしおインゲン部会現地検討会～



今後の栽培管理について説明する普及指導員

2月17日、須崎市及び中土佐町で、JA土佐くろしおインゲン部会が現地検討会を開催し、生産者15人が参加しました。

農業改良普及課は、気象やハウス内環境データの情報、今後の栽培管理、病虫害防除等について説明しました。

生産者からは、「飽差とは何か」、「適正な温湿度はどの程度か」など多くの質問が出ました。

農業改良普及課は今後も、インゲンの収量・品質向上に向けた情報提供、指導を行います。

収量・品質の向上を目指して ～JA土佐くろしおシシトウ現地検討会～



「NP」の生育を観察する生産者

2月20日、JA土佐くろしおハウスししとう部会が現地検討会を開催し、生産者14人が参加しました。

農業改良普及課は、日射量に応じて光合成能力が高くなることや、フザリウム属菌による立枯病などについて説明しました。

生産者から「日射量が重要であることが分かった」、「立枯病の防除をしっかり行いたい」という声がありました。

今後は、シシトウの収量・品質向上を目指して、JAと連携した高温期の遮熱資材の効果について雨よけ栽培での実証を行います。